

# 大阪市教組

2025.5.20 大会特集号

発行人：三谷 和義 編集人：田河 真理

発行所 大阪市教職員組合 TEL6942-3561 FAX6943-8039 <http://otuosaka.jp>

5月17日、天王寺区民センターにおいて、大阪市教職員組合第73回定期大会が開催されました。

はじめに、東部支部の畠中代議員と北部支部の中世古代議員を議長に選出し、議事がすすめられました。

次に、主催者を代表して三谷執行委員長の挨拶、来賓を代表して大阪市会議員の森山よしひささん、大阪教組中央執行委員長の百濟喜之さん、市労連執行委員長の川口篤志さんから挨拶がありました。

続いて、執行部より経過報告と25年度運動方針案ならびに当面の闘争推進案、24年度決算ならびに会計監査報告、25年度予算案について提案がありました。

執行部提案後の質疑では、以下のような質問が出されました。

家原代議員（西部支部・真住中分会）

- ・大阪市労使関係条例により学校での分会会議が開催できないことについて市教組としての見解は。
- ・組合加入を勧めるピウの活用法について。

柳井代議員（東部支部・南中分会）

- ・日本語指導の必要な子どもが、各校で非常に増えている。渡日の子どもたちの教育を保障するための市教組としての見解は。

竹島代議員（北部支部・天満夜間中分会）

- ・夜間中学校の教育の充実に向けて、市教組夜間中学校対策委員会や近畿・全国の夜間中学の研究会と連携してさまざまな働きかけをしている。今後も日教組を先頭に支援を行ってほしい。
- ・夜間中学校の教員の研修権が保障されていないように思うが市教組としての見解は。

高野代議員（北部支部・柏里小分会）

- ・大阪関西万博の遠足実施に関わって、低学年や障がいのある子どもたちの引率に不安を感じている。事故などが発生したときは、学校や教職員の責任にせず教育委員会が責任をもつべきと考えるが市教組としての見解は。



畠中代議員（左） 中世古代議員（右）



議事運営委員のみなさん



市教組  
三谷 執行委員長



森山 市会議員



大阪教組  
百濟 中央執行委員長



市労連  
川口 執行委員長

## 大阪市教職員組合 第73回定期大会を開催！

### 執行部原案が圧倒的多数の賛成により、可決・承認！

南崎代議員（北部支部・東三国中分会）

- ・特別支援学級では、近年「自立」が強調され、「自立」＝「役に立つ」との解釈で、障がいのある人を外国人労働者と同じように安価な労働力として使おうとする傾向になっていないか。
- ・総合的読解力育成カリキュラムの実施に関して、そのねらいを見ると、決まった答えを出すためのスキル学習に陥る面がないかと危惧している。これらについての市教組の見解は。
- ・反戦平和、憲法擁護の取り組みについて、各団体との連携以外に、市教組独自の具体的な取り組みが必要では。

質問を受けて、執行部より答弁をしました。質問・答弁の中で、今後の市教組運動の課題を確認することができました。

討論には、9人が参加し、各現場の活動報告や市教組に対する要望、専門部の活動について、活発な意見が出されました。（討論内容は裏面に抜粋して掲載）

我孫子中分会・川原代議員より修正案が出されましたが少数否決となりました。そして、第1号～第4号議案までの執行部原案の採決が行われ、圧倒的多数の賛成により原案が可決・承認されました。第5号議案で特別執行委員承認の提案を行い、松岡誠さんが選出されました。

続いて、「真の『働き方改革』を求める特別決議案」、「大会宣言案」、「スローガン案」が提案され、参加者の拍手をもって採択されました。最後に田辺副執行委員長の団結ガンバローで大会を締めくくりました。

市教組は、定期大会で承認された2025年度運動方針をもとに、子どもたちに豊かな学びを保障し、よりよい教育条件の実現、働き方改革の推進、そして平和で民主的な社会の実現に向けて、引き続き全力で取り組みます。



団結ガンバロー！！



## = 討論 (要旨) =

宮尾代議員 (事務職員部)

事務職員部は 10日に定期大会を開催し、運動方針が決定した。近年の業務の複雑化に伴い、現場では経験の浅い事務職員が困っている場面も多い。現場の課題を共有化し、改善を要求するとともに、組織拡大へつなげていきたい。



戸田代議員 (女性部)

子育てや家事との両立について不安を抱えている教職員は多い。女性部のカムバックセミナーでは育休から復帰したときの経験談や制度について聞き、情報共有をしている。誰もが安心して働ける職場づくりに取り組んでいく。



家原代議員 (西部支部・真住中分会)

連合の仲立ちのもと、立憲や国民民主までが憲法改悪の論議に加わろうとしている。私たちは「教え子を再び戦場に送らない」という日教組運動の原点に立ち返って、憲法改悪や防衛力強化に反対の声を上げて立ち上がろう。



柳井代議員 (東部支部・南中分会)

給特法改正・学校教育法改正に伴う担任手当や新たな職の導入は職場を分断するものである。世界は今、新たな戦前に向かっていく。私もさまざまな集会に参加をして戦争反対の声を上げてきた。ともにがんばりましょう。



高嶋代議員 (南部支部・桑津小分会)

南部支部は青年部の学習会や交流会を開催してきた。青年層のつながりを深め、組合活動の良さを知ってほしい。今年も特別専科教諭も含めた学習会を企画している。組合から届くピラや案内も活用して、仲間の輪を広げましょう。



### 広報部メモ

年度が変わり、職場に新たな仲間が加わりました。一人ひとりに「組合入っていますか？」と尋ねた時の反応を二つ紹介します。

Aさん「はい、市教組です！よかった！誰が組合員かわからなくて不安だったんです。同じ組合の仲間がいて安心しました。よろしくお願いします。」

Bさん「いえ、入ってないです。組合について、聞いてみたかった事があったけど、今まで組合の人から声をかけてもらった事がなかったの…。」

Aさんの転勤という大きな不安を、組合という存在が和らげる事ができた喜びを感じました。Bさんには、いろいろとお話した結果、市教組に加入していただくことになりました。

みなさんの職場にも、声かけを待っている方がいるかもしれません。(K)

竹島代議員 (北部支部・天満夜中分会)

今年度、夜間中学校に入学してきた生徒の大半が日本語指導を必要とする生徒だった。家族滞在のケースが増えている。生徒たちの進路保障のためには高校進学が必要である。夜間中に給食がない問題にも取り組んでいきたい。



南崎代議員 (北部支部・東三国中分会)

分会に新しく入ってきた人に市教組の活動を紹介したら、快く組合に加入していただいた。給特法が改正されても「定額働かせ放題」の現状は変わらない。教職員を増やすことが重要である。運動を粘り強く続けていきましょう。



石原代議員 (西部支部・鶴見橋中分会)

鶴見橋中では、外国にルーツのある生徒を集めて「ユネスコタイム」に取り組んでいる。SNSや動画などの誤った情報や偏見に気づくためのファクトチェック等も伝えている。すべての生徒を対象に多文化共生教育をすすめたい。



小西代議員 (栄養教職員部)

今年度は食物アレルギー対応のシステム化が予定され、現場の混乱が予想される。中学校との親子給食や施設老朽化、業者委託など課題は多い。栄養教諭の必要性はさらに高まっている。栄養教諭の全校配置を求めて取り組みたい。

